

市街地の起伏に富んだコース

東京フォト・オリエンテーリング シリーズ 等々力溪谷コース

手軽に利用してもらうため、通過証明を写真撮影にした常設型大会「東京フォト・オリエンテーリングシリーズ」に等々力溪谷コースを追加しました。

等高線が読める！

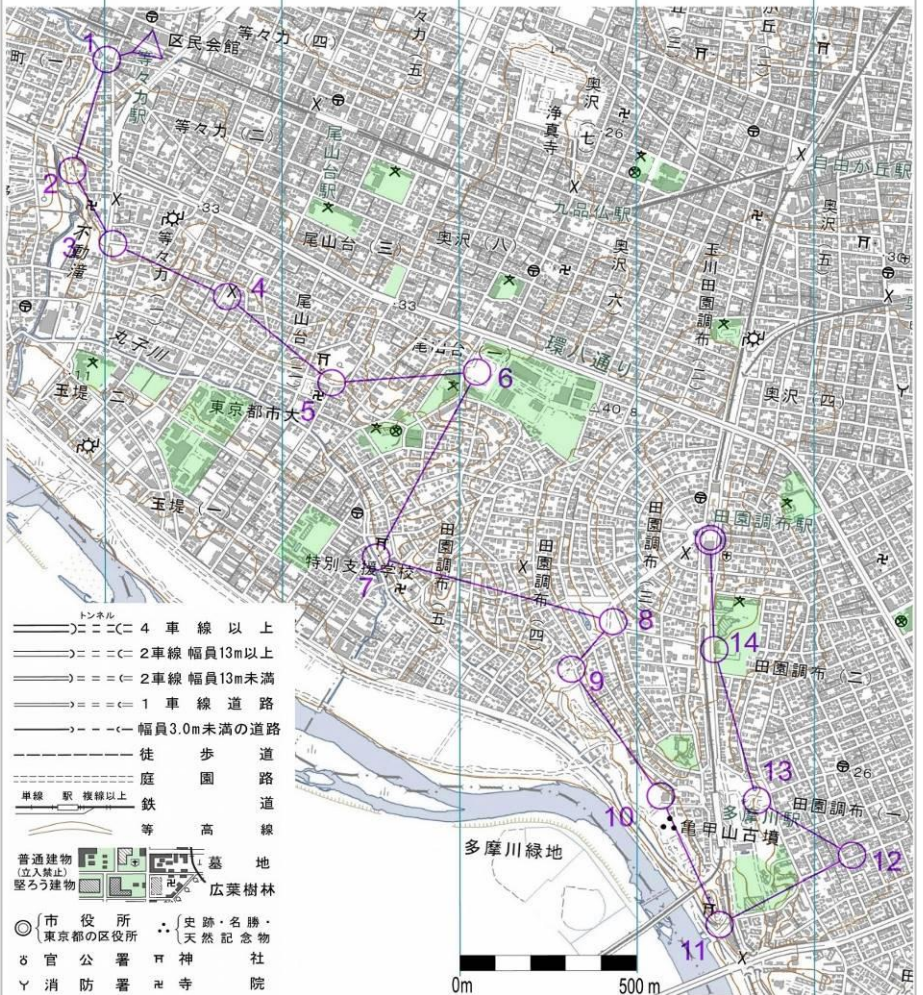
コースは、東京区部唯一の溪谷である等々力溪谷から、高級住宅街田園調布までの起伏に富んだ 6km です。地図は国土院の電子地形図 25000 ベースに、縮尺を 12,500 分の 1 に拡大、磁北を真上に回転、ペイントツールで中間階調を薄くする補正*1 してから、作図ソフト*2 で上から等高線をなぞって住宅街でも等高線が読めるように加工しました。なぞる時に、道路上だけは等高線を書かないことで、道路が読み難くなることを防いでいます。原始的な方法ですが、基礎情報を使う方法なども含め試行錯誤した結果、これが一番手間が掛かりませんでした。最後にドローイングソフト*3 で、学校などの立入禁止エリアを緑色の半透明で塗っています。



東京 フォト・オリエンテーリング 等々力溪谷コース

縮尺 1:12,500
等高線間隔 10m

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。
(承認番号 平27情複、第481号)



で3時間の楽しい実習でした。

等々力溪谷コースでの講習会は、年2回くらいはやりたいと思いますが、常設コースですので、セブンイレブンの複合機にプリント予約番号「J O A C 0 1 9 A」と指定すれば、いつでも地図を入手できます。ぜひ回ってみてください。

*1 日本フォトログイニング協会の運営者向け講習会資料を参考にフリーソフトの IrfanView32 でガンマ補正 1.2、彩度-100 で補正した。
(<http://photorogaining.com/main/details/download.html>)

*2 等高線の追加だけなら、フリーソフト OpenOrienteering Mapper 等で充分。
(<http://openorienteering.github.io/apps/mapper/>)

*3 凡例の追加なども含めてフリーソフトの LibreOffice Draw を使用した。
(<https://ja.libreoffice.org/>)

(笠原健司)

講習会も実施

11月28日に等々力溪谷コースを使った講習会を実施しました。座学ではサムレーディング・整置・歩測・等高線などの基本的な内容に加え、河川争奪の話などもしました。実習では、等高線から地形を読んでルート選択をするレッグがいくつか有り、どう選択するか解説しながら回ります。以前から要望のあった講習内容が、市街地でもやっと実現できました。溪谷・古墳・公園・神社などのコントロール（チェックポイント）を回り、田園調布駅ま

